

道内の感染状況等について

【令和4年8月5日】

主な指標の状況

		移行指標				その他指標		
8/4	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	10万人当たり 療養者数	新規 感染者数 今週 先週比	感染経路 不明割合 (注)	PCR 陽性率 (注)
全道	2	32.1% (721床) ↑	3.6% (5床) ↑	808.9人/週 (42295人/週) ↑	981.5人 (51319人) ↑	1.36 ↑	54.5% ↓	61.8% ↑
札幌市	2	42.7% (311床) ↑	0.0% (0床) →	1013.2人/週 (19875人/週) ↑	1180.5人 (23157人) ↑	1.44 ↑	55.9% ↓	69.6% ↑
札幌市を 除く地域	2	27.0% (410床) ↑	5.5% (5床) ↑	686.2人/週 (22420人/週) ↑	862.0人 (28162人) ↑	1.31 ↑	53.2% ↓	56.1% ↑
レベル2 移行指標		20%	又は 20%	15人/週	20人			
レベル3 移行指標		50%	又は 50%	—	—			

※()は実数。

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

(注) 現在、高齢者施設や同居家族などに疫学調査を重点化していることから、結果として、感染経路不明割合、PCR陽性率は高い数値となる可能性がある。

総評 ①

【全国の状況】

- 全国では、新規感染者数が連続で過去最多を更新し、病床使用率も大きく増加している。国の専門家からは、全国的にこれまでに最も高い感染レベルを更新し続けており、感染拡大が継続している、と指摘されている。北海道においては、他の都府県と比較するといずれも低い状況が続いているものの、全国と同様に感染が拡大している。

※参考：8月4日、新規感染者数先週比 東京1.04、大阪1.00、福岡1.07、沖縄1.08（北海道調べ）

【医療提供体制】

- 療養者数は人口10万人当たりで981.5人。約9割を占める自宅療養者は、7月26日に過去最多を更新し、その後も増加が続いている。病床使用率についても、急速な増加傾向が続き32.1%と先週から7.9ポイントの増加となっている。また、札幌市は42.7%で同様の増加傾向となっている。地域によっては十勝圏が46.3%、札幌市を除く道央圏が28.2%と大きく増加している地域がある。重症病床使用率は、低い水準で推移しており、3.6%となっている。

【感染状況】

- 新規感染者数は、人口10万人当たりでは808.9人。7月26日に過去最多を更新し、以降10日連続で更新を続けている。年代別では、引き続き30代以下の割合が約6割となっているものの、10代の増加幅は他の年代と比べ低くなっている。
- 感染者がより増加しやすいとされているBA.5系統については、国の専門家によると、流行の主流がBA.2系統からBA.5系統に置き換わったと推定される、と指摘されている。道内においてもこれまでに145件が検出され、現在、道立保健所管内分の検出率は66.7%となっている。

総評 ②

【今後の対策】

- 全道の新規感染者数が過去最多を更新する中、国の専門家からは、医療提供体制への影響も含め最大限の警戒感をもって注視していく必要がある、と指摘されており、社会経済活動をできる限り維持していくため、これまで整備してきた保健・医療提供体制を十分に機能させながら、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方を感染から守ることに重点を置き、取組を進める。
- 道内の保健・医療提供体制は、直ちにひっ迫している状況にはないが、感染が拡大する中、発熱外来への負担が増加しているほか、札幌市を含む道央圏や十勝圏においては、病床使用率が大きく増加していることから、病床フェーズの更なる引上げについて検討を進める。保健所が重症化リスクの高い高齢者等に確実に対応できるよう、自宅療養者に対する健康観察業務の民間委託を大幅に拡大し、8月8日から全26保健所で実施する。～スライド⑦、⑧参照
- 高齢者施設等における感染拡大を防いでいくため、地域の感染拡大の状況に応じ、職員に対する頻回検査について、順次開始できるよう準備を進める。
- 自宅療養セットの迅速な配送に向け、効率的な配送手法について事業者との調整を進めるほか、申込方法等の見直しを含め、更なる効率化について検討していく。

総評 ③

- 事業所等においては、療養期間の開始・終了後に検査証明や陰性証明の提出を求めている状況がある。道内の医療機関等では、こうした求めに応じ、対応しているが、国の通知を踏まえ、今後は発行を求めないよう事業者等へ協力を依頼した。また、保健所では療養証明を発行しているが、国の通知で、真に必要な限り、提出を求めないこととされたことから、こうした取扱いについて、事業者等に協力を依頼した。
- 8月4日、国の新型コロナウイルス感染症対策本部において、「オミクロン株の特徴に合わせた医療機関や保健所の更なる負担軽減への対応」が決定された。道においては、詳細を確認の上、関係機関等と情報共有するとともに、更なる負担軽減への対応に向け、検討を進める。
- 道民の皆様に、これまで呼びかけてきた3つの行動について、引き続き、実践を呼びかけるとともに、夏休みシーズンに、注意が必要となる場面や場所における実践について、分かりやすく呼びかけを行う。特に、医療の負荷に直結する、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方、また、そうした方々と会う方の双方が、基本的な感染防止行動を徹底するよう働きかける。また、高齢者等に会う際には、検査による陰性確認などを行うよう、呼びかける。
- 誰もが感染する可能性が高まる中、万が一の感染に備え、解熱剤や3日間程度の必要な生活物資等の備蓄について、家族で話し合うなど、あらかじめ用意するよう呼びかける。

総評 ④

- 道内においても、新規感染者数が増加する中で、救急搬送困難事例が増加している。このため、重症化リスクの高い高齢者等をはじめ、子どもの急病など様々な方の医療へのアクセスに支障が出ることのないよう、市町村とも連携しながら必要な呼びかけを行う。
- 全数把握の要否など感染症法上の取扱いについて、道では、国に対し緊急要請を行うとともに、全国知事会を通じ、緊急提言を行った。国は、7月31日、今後の見直しに関する方向性を示したほか、8月2日には専門家有志による提言が行われたところであり、引き続き、今後の国の動向について注視していく。
- 国は、BA.5系統を中心とする感染の急拡大に対応し、「BA.5対策強化宣言」を行う都道府県への支援について7月29日に決定し、8月1日には、宣言に関する留意事項が発出された。道としては、宣言を行った府県の取組内容等について速やかに情報収集を行う。
- 重症化リスクの高い高齢者などの4回目接種、若年層の3回目接種を積極的に検討いただけるよう、北海道ワクチン接種センターの活用や、多様な媒体を活用した広報の展開による呼びかけを進める。
- ノババックスワクチンの接種については、8月28日までの間、道の接種センターの接種回数を1日240回に拡大し、実施している。道内では現在7市町で接種が実施されている。また、新たに帯広市が8月20日から接種を開始することとなり、これを含め今後4市町で開始が予定されている。広域的な接種の促進なども含め、国からのワクチン配分の動向も見据えながら、より多くの方が接種を受けられるよう、市町村との調整を進める。

保健・医療提供体制確保の取組

※対応：○＝対応済 ②＝継続して対応中のもの

区分	対応	現状等
検査	② ○	<ul style="list-style-type: none"> 検査需要の増加に対応するため、引き続き、今般の診療報酬上の特例措置の延長を周知の上、診療・検査医療機関の拡充に向けた働きかけを行う。また、検査機関の負担を軽減するため、抗原定性検査キットの確保や配布について、効率的な手法を検討する。 無料検査事業では、早期に検査キットの発注を行うよう、検査事業所に通知を行ってきたところ。現在、一部入手しづらい検査キットの機種もあるが、全体としては、不足は生じていない。 ※お盆期間等の主要な駅や空港等での受検については、新たな実施箇所の追加や様々な媒体を活用した広報展開を行う。
外来 (相談センター)	○ ○ ②	<ul style="list-style-type: none"> 道の健康相談センターへの相談件数が、大幅に増加していることから、センターの人員や回線を増強し、対応力を強化した。 外国人旅行者に対応するため、8月1日から多言語(12カ国語)対応を実施。 発熱外来を開設する医療機関の負担が増加してきていることから、重症化リスクが低いと考えられる有症状者に対し、受診に代えて抗原定性検査キットを配布する体制について、準備を進めている。
自宅療養	○ ○ ②	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察業務に必要なパルスオキシメーターを十分に確保するとともに、配送業務についても、迅速な配付のため、民間委託により対応している。 自宅療養セットについては、オミクロン株の特性を踏まえた国の取扱いや療養実態を踏まえ、内容量の見直しを実施。 今後の感染急拡大に対応するため、必要な方に速やかに自宅療養セットを届けられるよう、効率的な配送手法について事業者と調整を進めている。

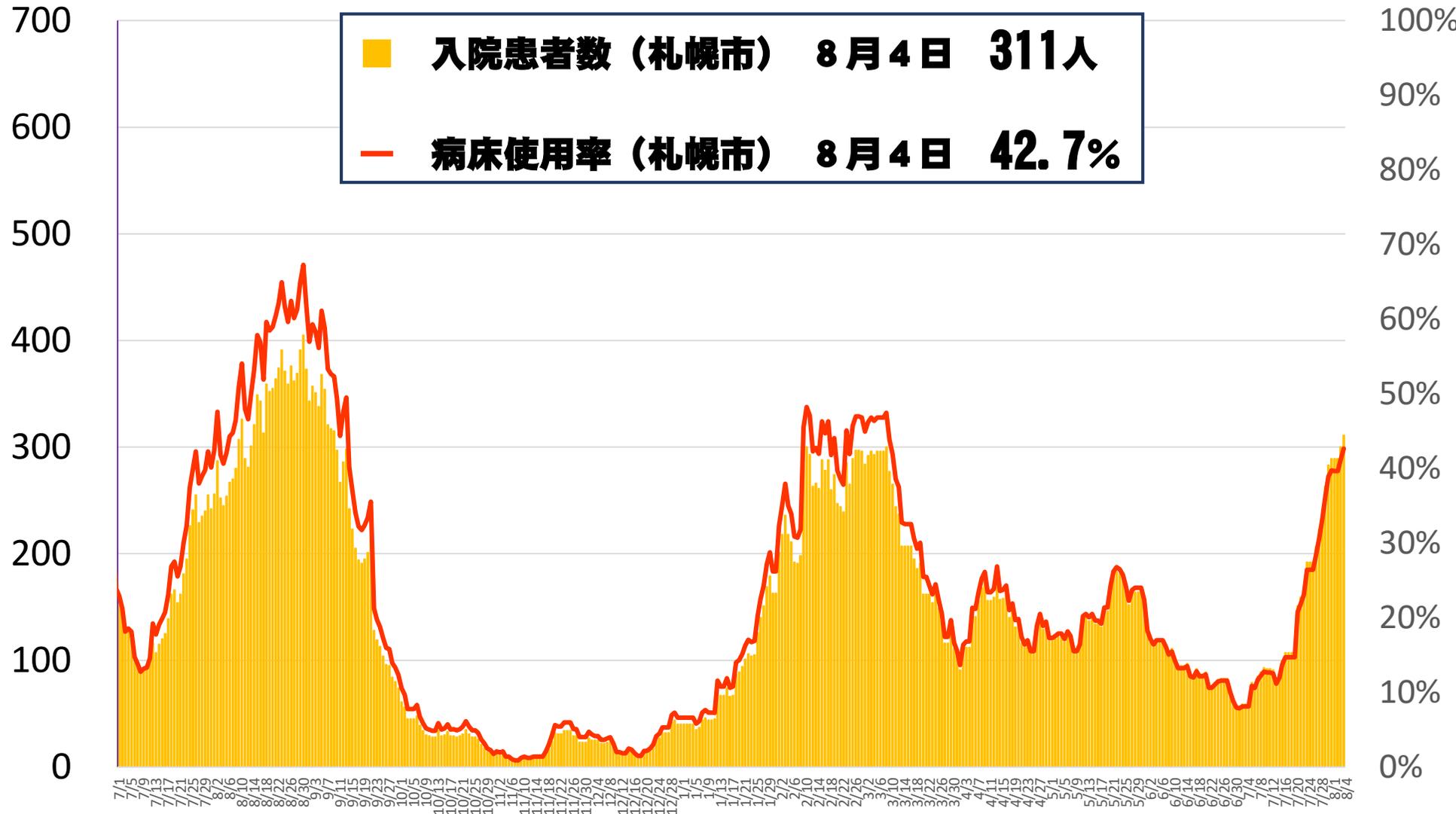
保健・医療提供体制確保の取組②

区分	対応	現状等
宿泊療養	○	<ul style="list-style-type: none"> 療養者の更なる増加に備え、療養体制や施設運営に支障が生じないよう、現施設の契約期間を延長した。引き続き、契約終了後の施設確保も含め、調整を進める。
入院	○ ◎ ◎	<ul style="list-style-type: none"> 感染の急拡大に伴い、入院患者が増加し、病床使用率が高い地域もあるなど、医療提供体制への支障が危惧され始めている中、今後の更なる入院患者の増加に備え、8月1日から全道域で即応病床のフェーズを2に引き上げた。 病床使用率が大きく増加している札幌市を含む道央圏や十勝圏における即応病床のフェーズの更なる引き上げについて、医師会や医療機関等と協議を進める。 医療機関における集団感染などにより、医療従事者の感染者や濃厚接触者が増加していることから、適時状況の把握に努める。
保健所業務	○ ◎ ◎	<ul style="list-style-type: none"> 業務負担が増加する中、健康観察業務の民間委託を大幅に拡大し、25保健所で実施中。 この民間委託については、8月8日から全26保健所で実施する。 会計年度任用職員の確保や振興局からの応援体制の整備に取り組んできたところであり、今後の感染拡大も見据え、引き続き体制の拡充に取り組む。
ワクチン	◎	<ul style="list-style-type: none"> 国においては、7月、8月を「ワクチン推進強化月間」とし、広報活動を強化しており、道としても、接種の促進に向けた広報の展開や市町村への支援に努める。
(その他) 飲食店・ 観光事業者	○	<ul style="list-style-type: none"> 社会経済活動の維持に当たっては、感染防止対策が重要となることから、第三者認証店をはじめとした飲食店や観光事業者等に対し、感染防止対策の徹底等について依頼した。

入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率



入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

入院患者数（人）

700

600

500

400

300

200

100

0

■ 入院患者数（札幌市を除く地域） 8月4日 410人

— 病床使用率（札幌市を除く地域） 8月4日 27.0%

病床使用率

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

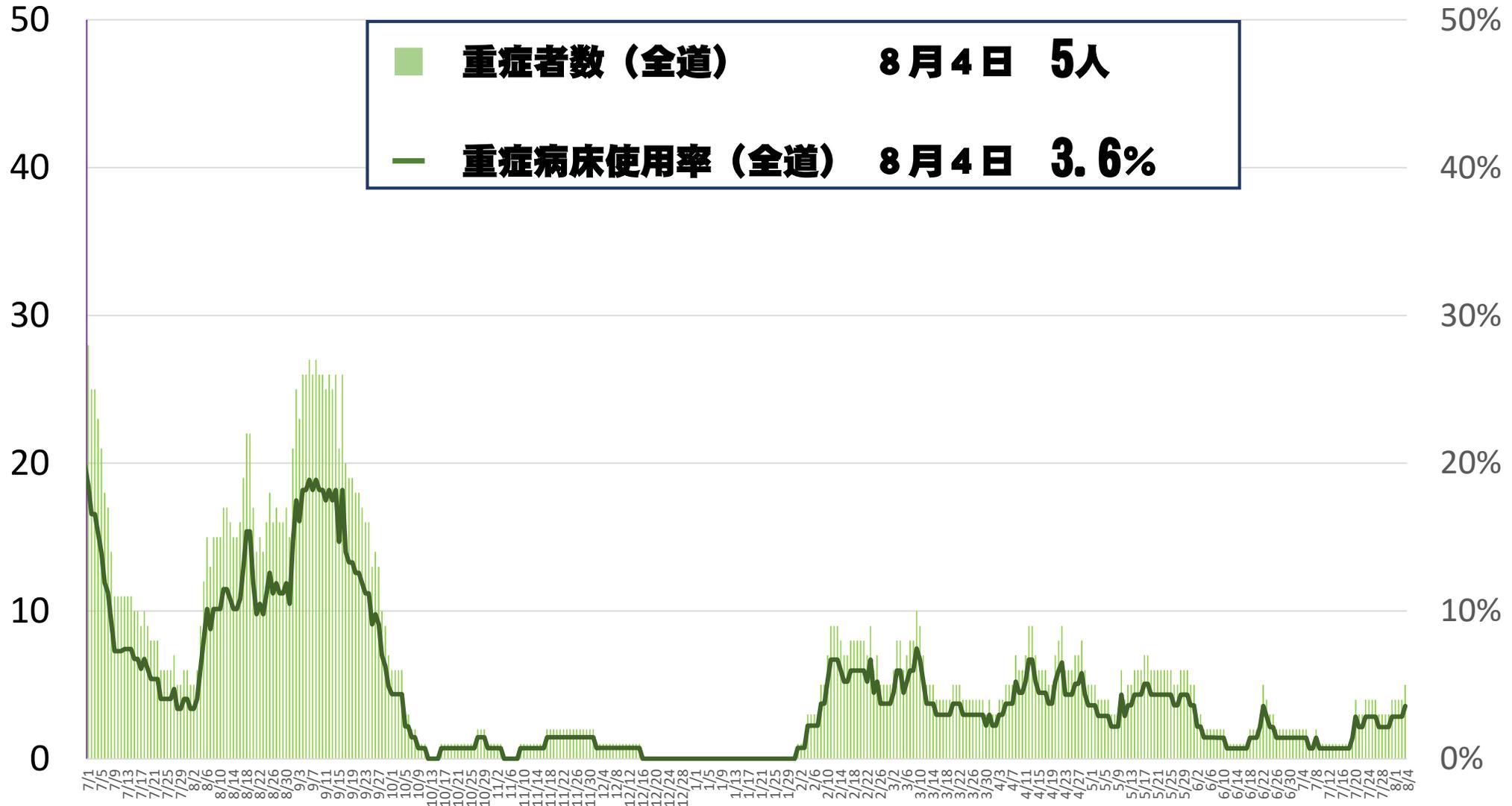
0%

7/15 7/19 7/23 7/27 7/31 8/4 8/8 8/12 8/16 8/20 8/24 8/28 9/1 9/5 9/9 9/13 9/17 9/21 9/25 9/29 10/3 10/7 10/11 10/15 10/19 10/23 10/27 10/31 11/4 11/8 11/12 11/16 11/20 11/24 11/28 12/2 12/6 12/10 12/14 12/18 12/22 12/26 1/1 1/5 1/9 1/13 1/17 1/21 1/25 1/29 2/2 2/6 2/10 2/14 2/18 2/22 2/26 3/1 3/5 3/9 3/13 3/17 3/21 3/25 3/29 4/2 4/6 4/10 4/14 4/18 4/22 4/26 4/30 5/4 5/8 5/12 5/16 5/20 5/24 5/28 6/1 6/5 6/9 6/13 6/17 6/21 6/25 6/29 7/3 7/7 7/11 7/15 7/19 7/23 7/27 7/31 8/4

重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

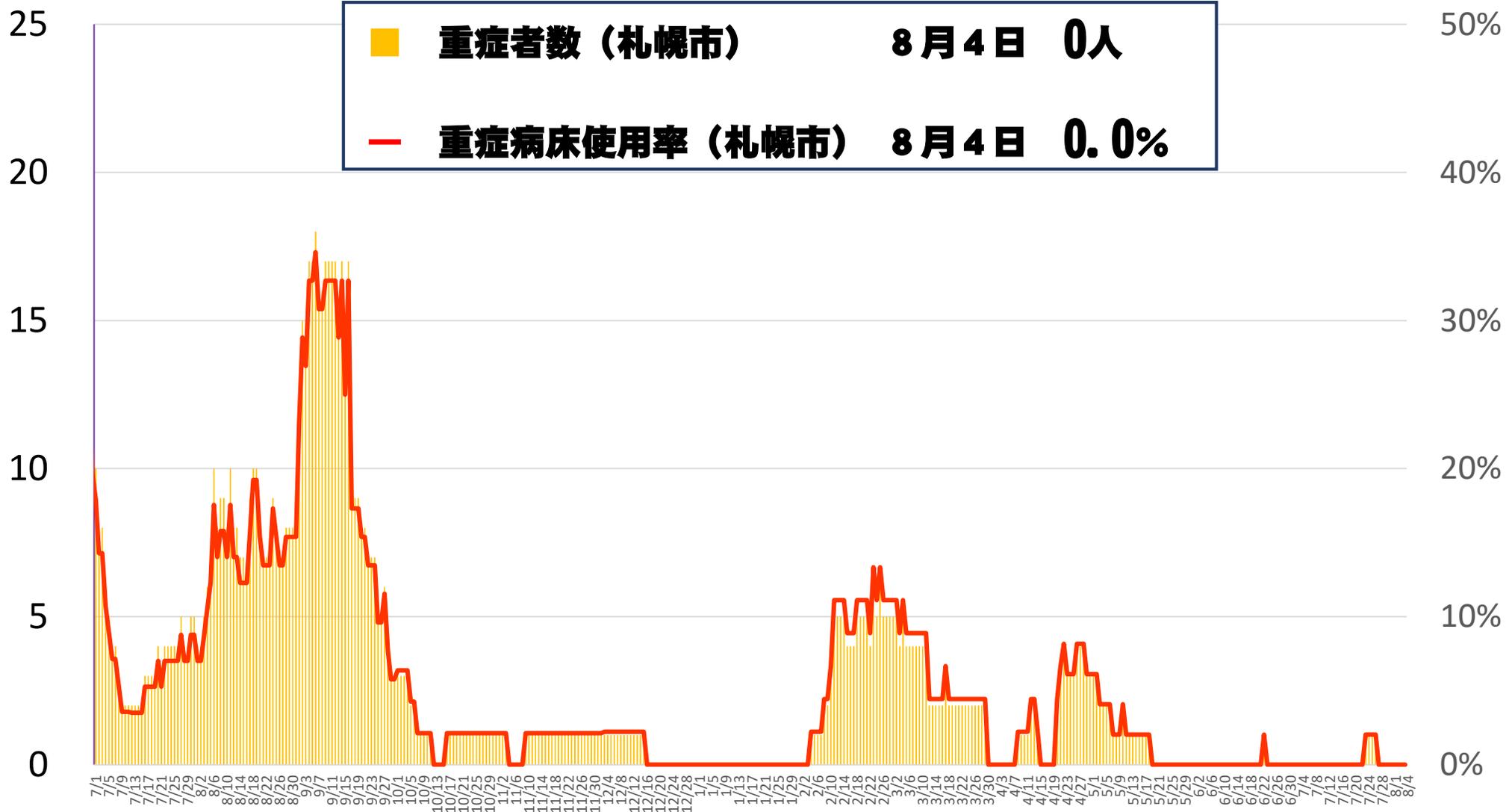
病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

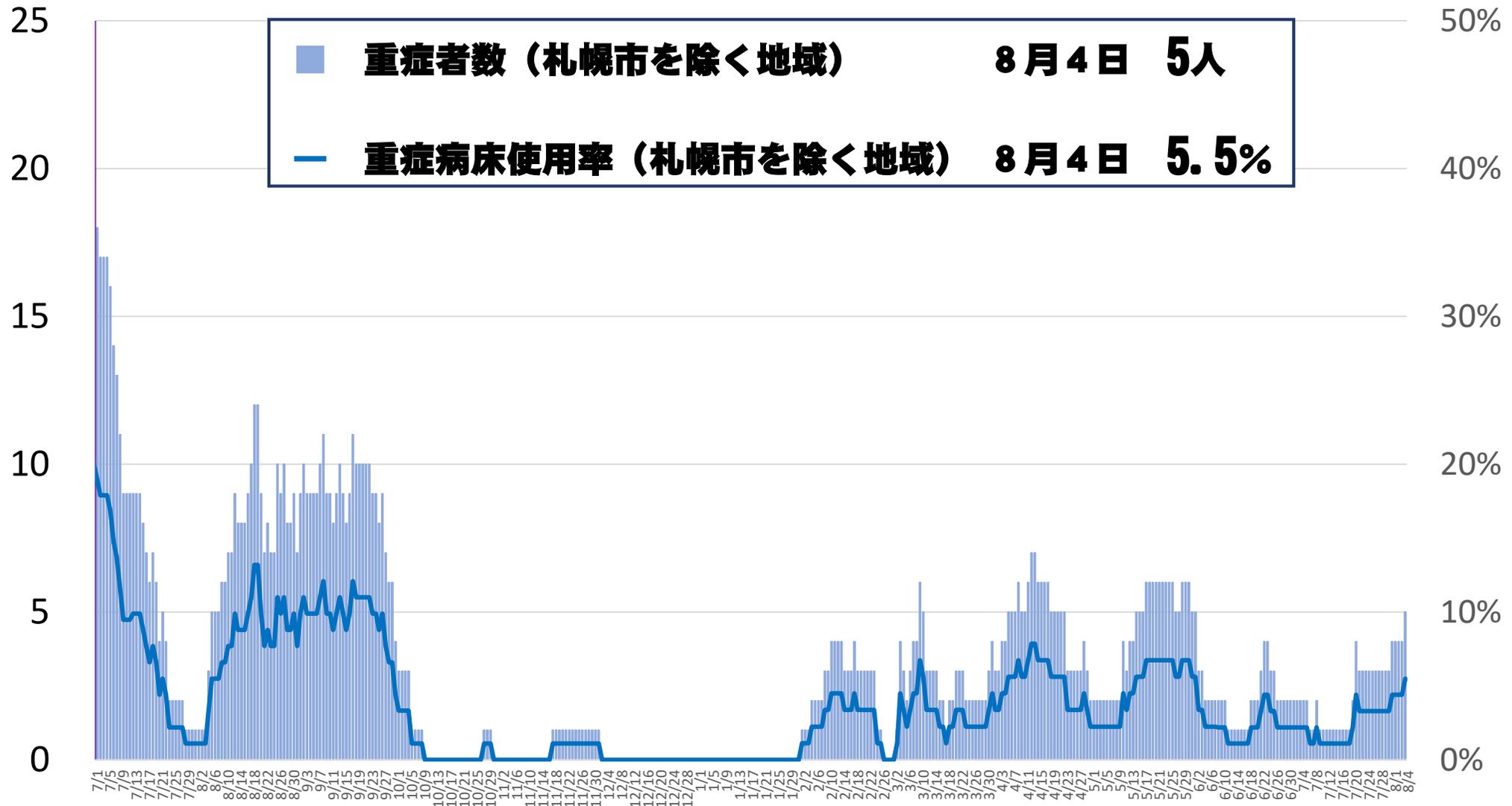
病床使用率



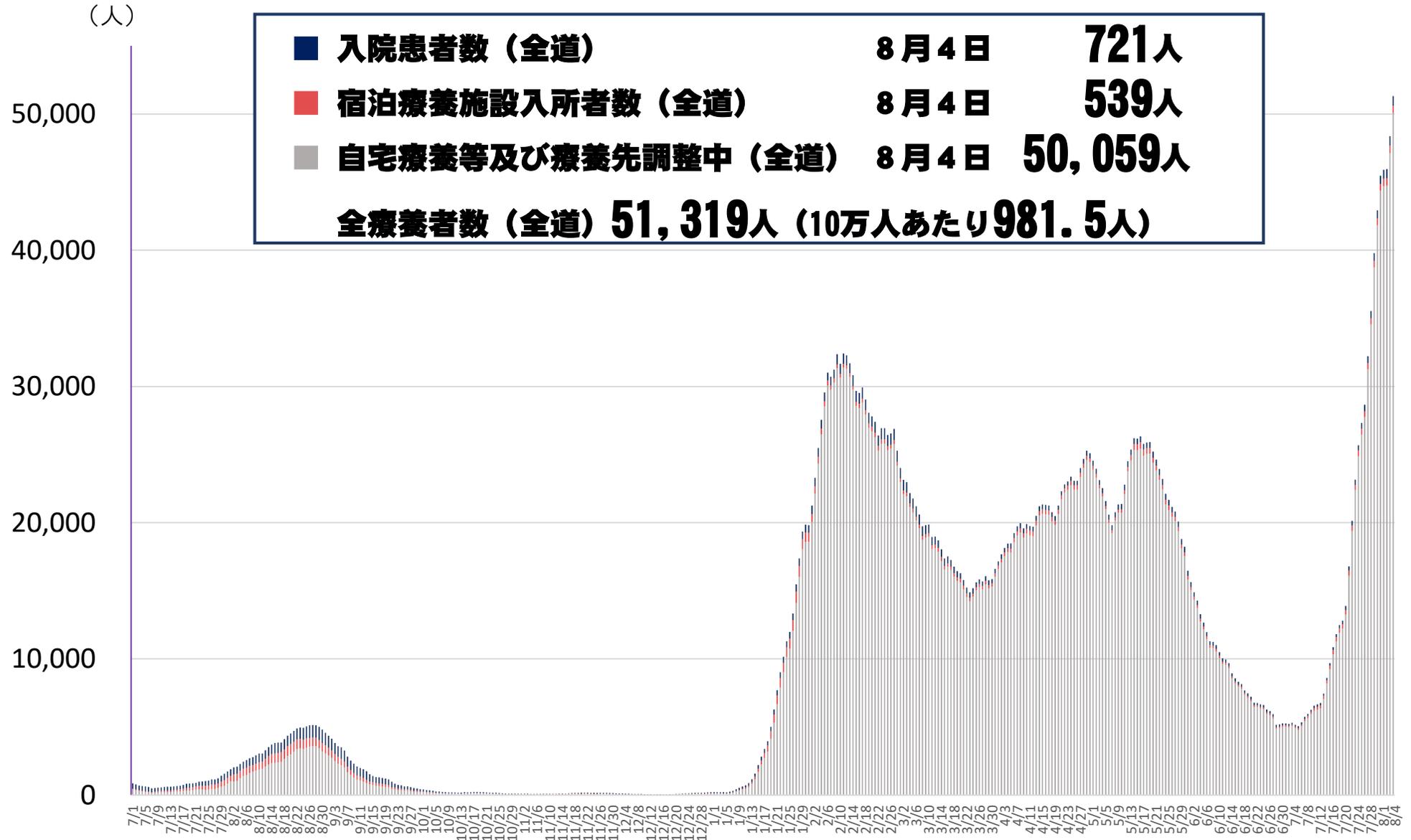
重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

重症者数（人）

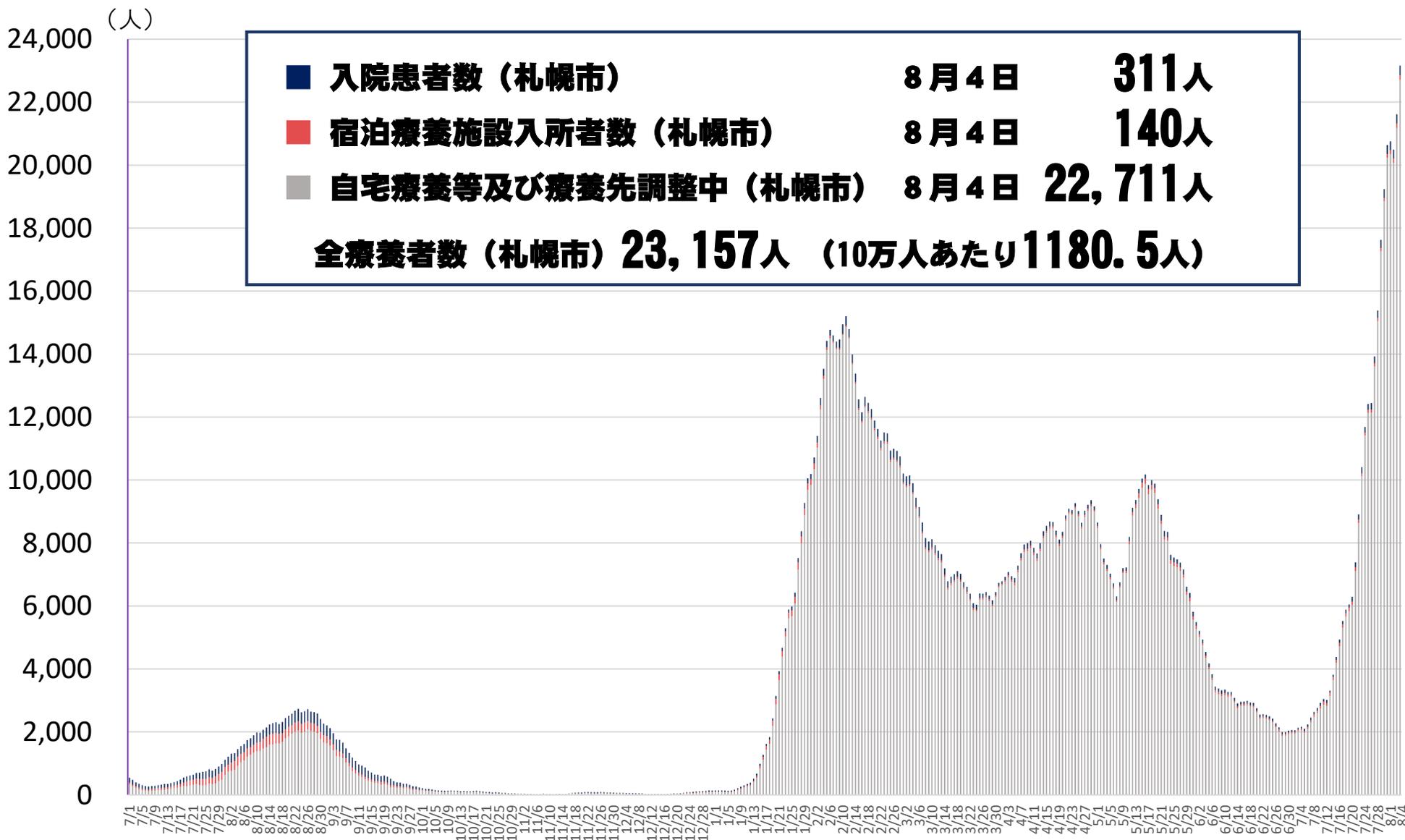
病床使用率



療養者数（全道）

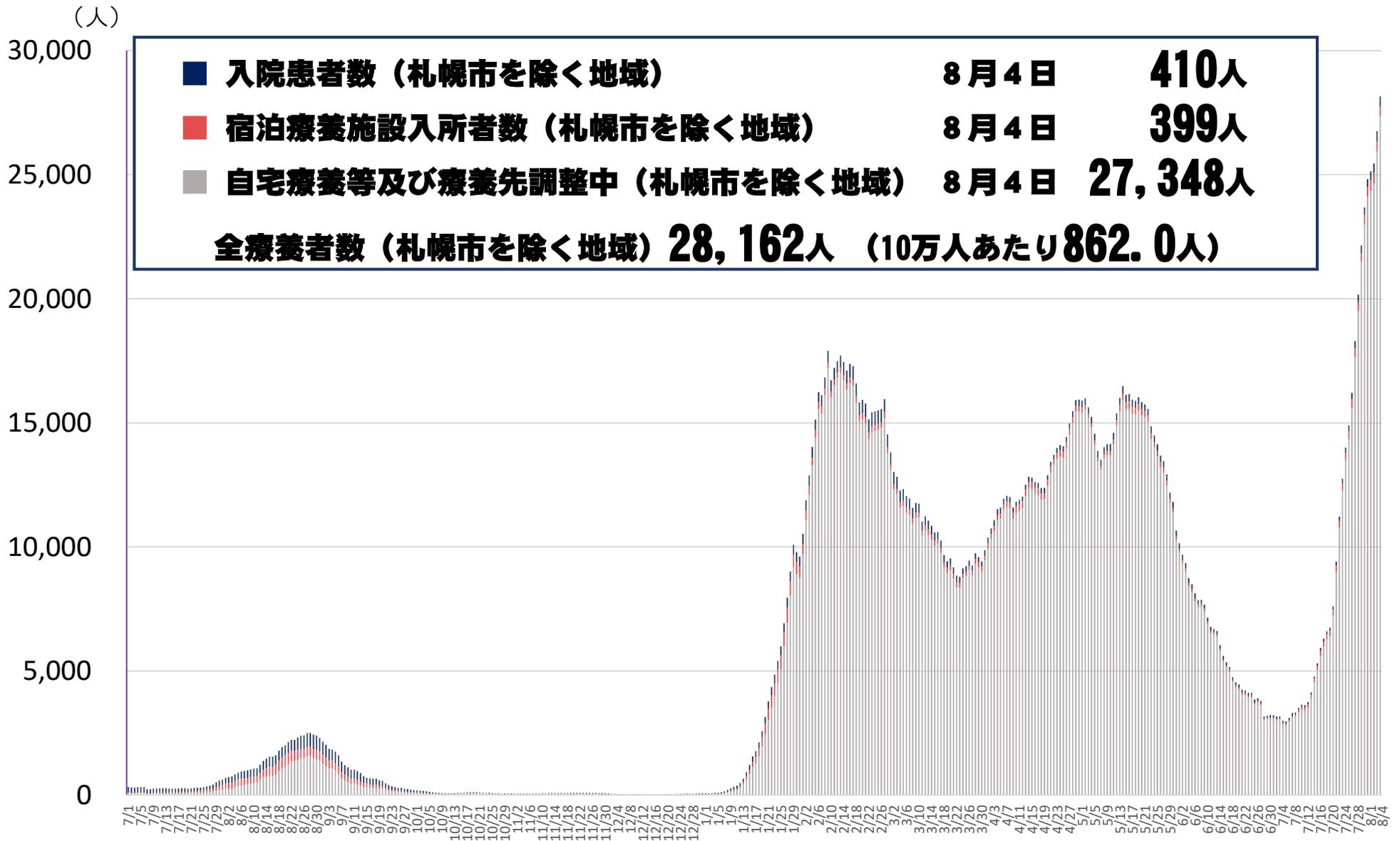


療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

療養者数（札幌市を除く地域）

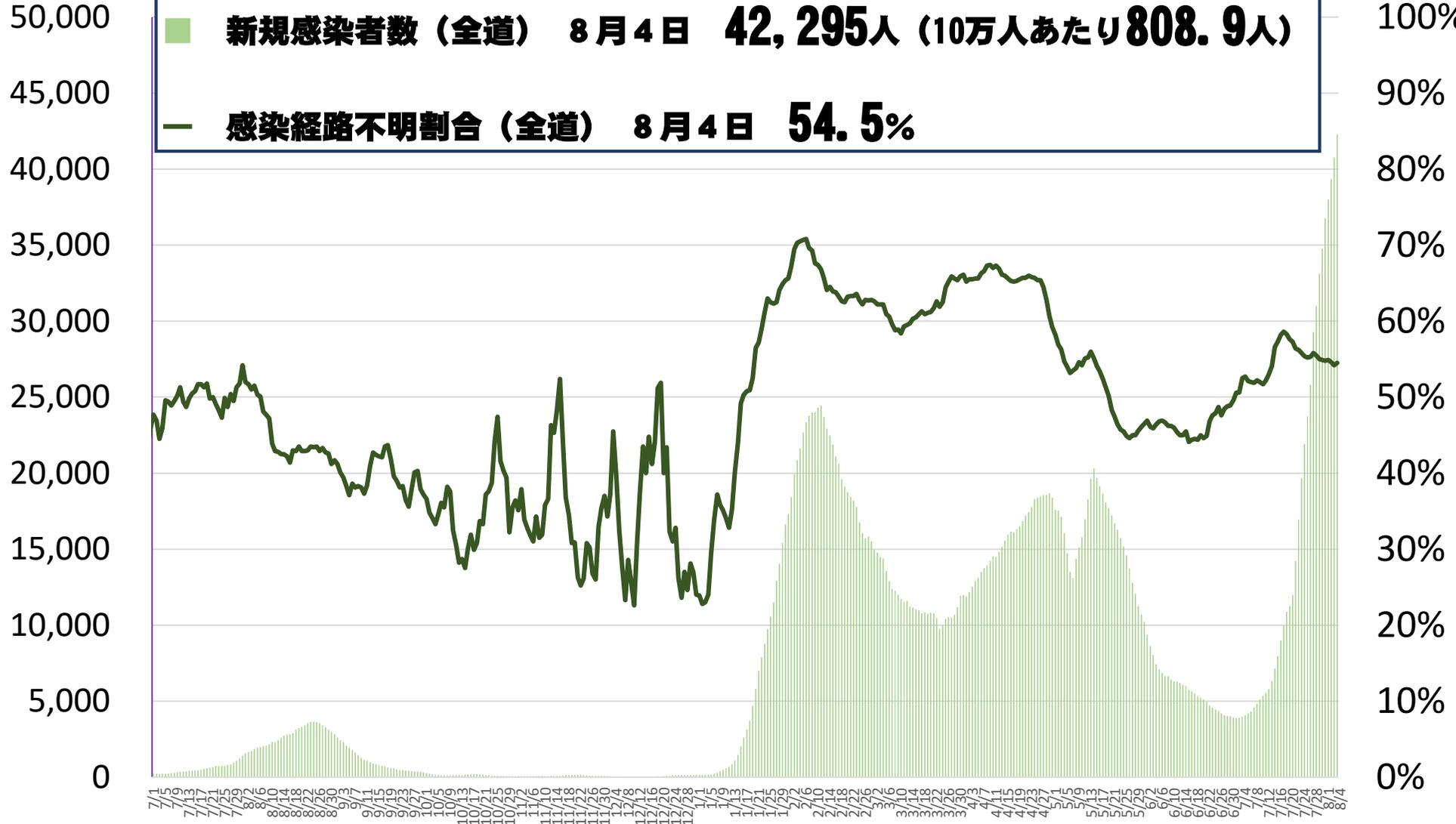


※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

新規感染者数と感染経路不明割合（全道）

新規感染者数(人)
(7日間合計)

感染経路不明割合
(7日間平均)

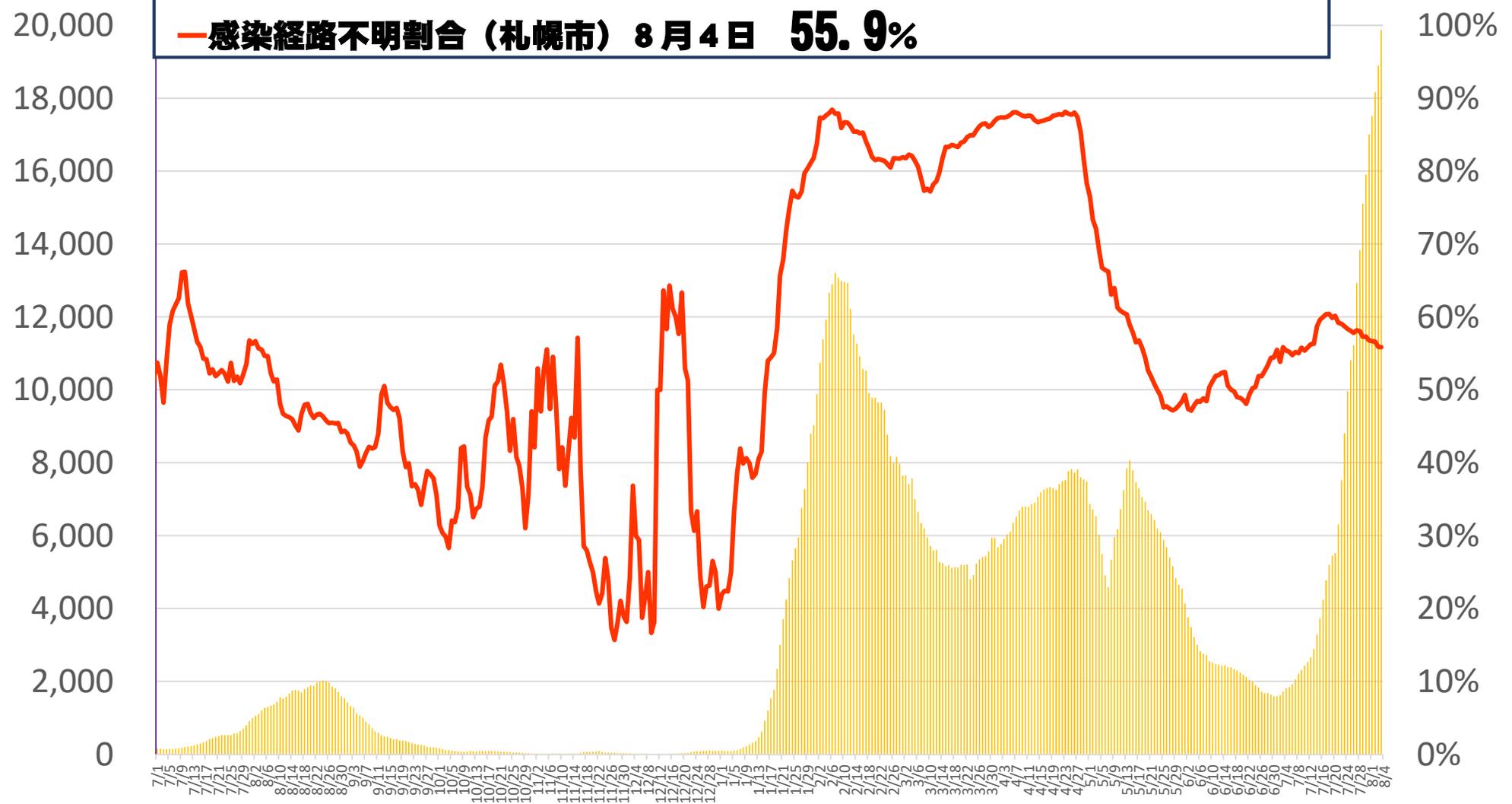


新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市）

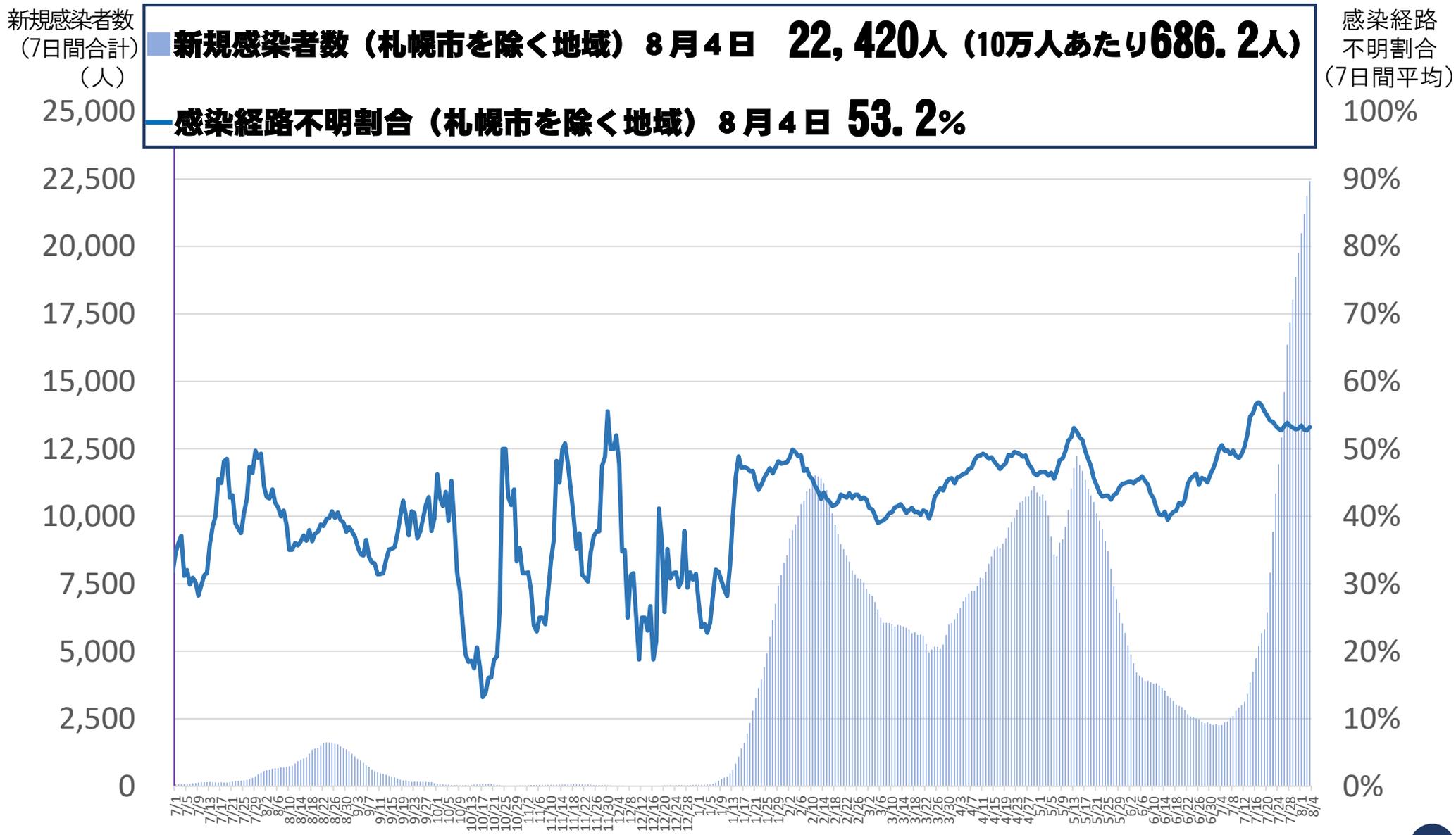
新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ **新規感染者数（札幌市） 8月4日 19,875人（10万人あたり1013.2人）**
— **感染経路不明割合（札幌市） 8月4日 55.9%**

感染経路不明割合
(7日間平均)



新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市を除く地域）



検査数と陽性率（全道）

検査数（人）
（7日間合計）

陽性率
（7日間平均）

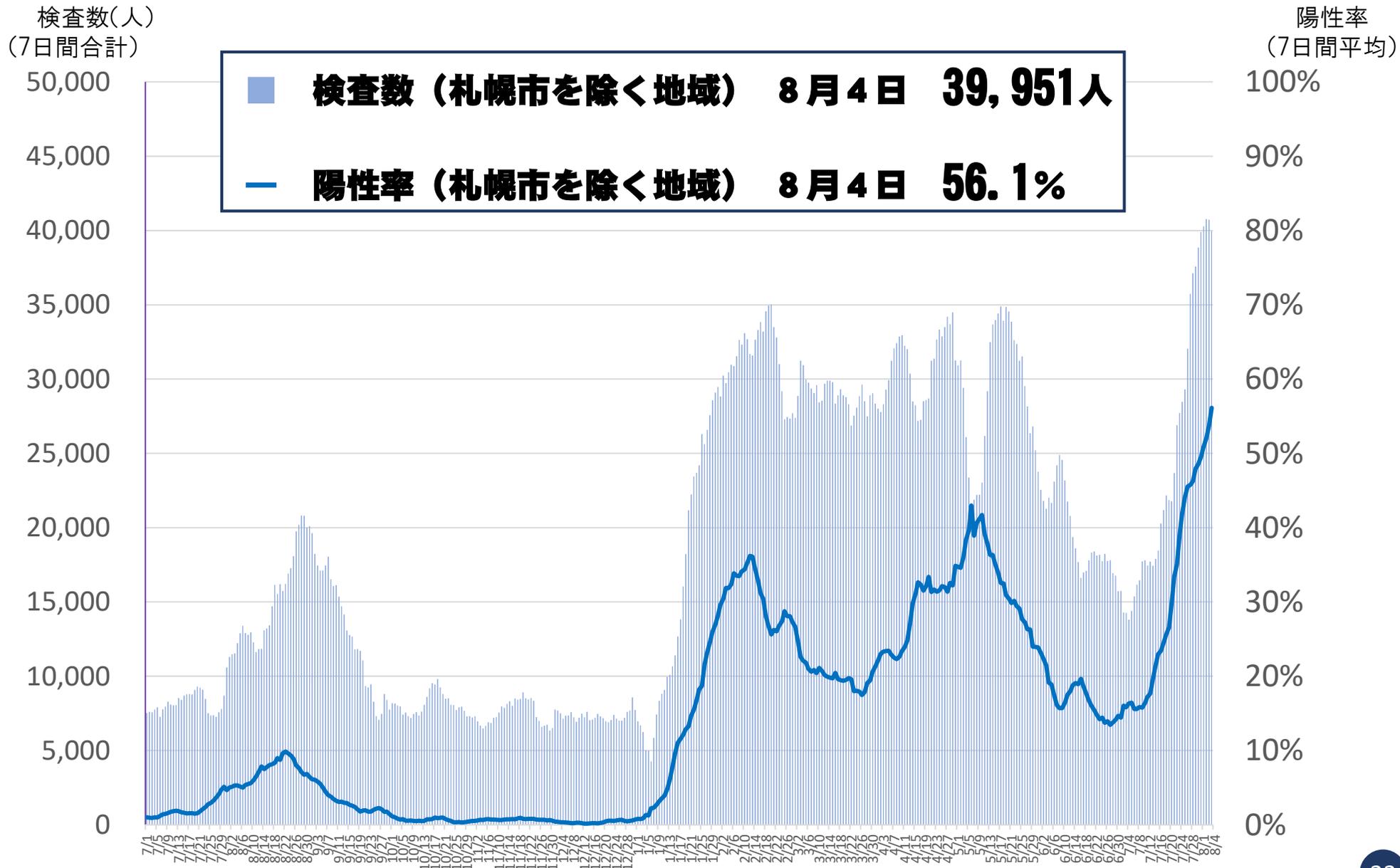
80,000
70,000
60,000
50,000
40,000
30,000
20,000
10,000
0

■ **検査数（全道）** 8月4日 **68,488人**
— **陽性率（全道）** 8月4日 **61.8%**

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%

7/15 7/16 7/17 7/18 7/19 7/20 7/21 7/22 7/23 7/24 7/25 7/26 7/27 7/28 7/29 7/30 7/31 8/1 8/2 8/3 8/4 8/5 8/6 8/7 8/8 8/9 8/10 8/11 8/12 8/13 8/14 8/15 8/16 8/17 8/18 8/19 8/20 8/21 8/22 8/23 8/24 8/25 8/26 8/27 8/28 8/29 8/30 8/31 9/1 9/2 9/3 9/4 9/5 9/6 9/7 9/8 9/9 9/10 9/11 9/12 9/13 9/14 9/15 9/16 9/17 9/18 9/19 9/20 9/21 9/22 9/23 9/24 9/25 9/26 9/27 9/28 9/29 9/30 10/1 10/2 10/3 10/4 10/5 10/6 10/7 10/8 10/9 10/10 10/11 10/12 10/13 10/14 10/15 10/16 10/17 10/18 10/19 10/20 10/21 10/22 10/23 10/24 10/25 10/26 10/27 10/28 10/29 10/30 10/31 11/1 11/2 11/3 11/4 11/5 11/6 11/7 11/8 11/9 11/10 11/11 11/12 11/13 11/14 11/15 11/16 11/17 11/18 11/19 11/20 11/21 11/22 11/23 11/24 11/25 11/26 11/27 11/28 11/29 11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/19 12/20 12/21 12/22 12/23 12/24 12/25 12/26 12/27 12/28 12/29 12/30 12/31 1/1 1/2 1/3 1/4 1/5 1/6 1/7 1/8 1/9 1/10 1/11 1/12 1/13 1/14 1/15 1/16 1/17 1/18 1/19 1/20 1/21 1/22 1/23 1/24 1/25 1/26 1/27 1/28 1/29 1/30 1/31 2/1 2/2 2/3 2/4 2/5 2/6 2/7 2/8 2/9 2/10 2/11 2/12 2/13 2/14 2/15 2/16 2/17 2/18 2/19 2/20 2/21 2/22 2/23 2/24 2/25 2/26 2/27 2/28 2/29 2/30 3/1 3/2 3/3 3/4 3/5 3/6 3/7 3/8 3/9 3/10 3/11 3/12 3/13 3/14 3/15 3/16 3/17 3/18 3/19 3/20 3/21 3/22 3/23 3/24 3/25 3/26 3/27 3/28 3/29 3/30 3/31 4/1 4/2 4/3 4/4 4/5 4/6 4/7 4/8 4/9 4/10 4/11 4/12 4/13 4/14 4/15 4/16 4/17 4/18 4/19 4/20 4/21 4/22 4/23 4/24 4/25 4/26 4/27 4/28 4/29 4/30 4/31 5/1 5/2 5/3 5/4 5/5 5/6 5/7 5/8 5/9 5/10 5/11 5/12 5/13 5/14 5/15 5/16 5/17 5/18 5/19 5/20 5/21 5/22 5/23 5/24 5/25 5/26 5/27 5/28 5/29 5/30 5/31 6/1 6/2 6/3 6/4 6/5 6/6 6/7 6/8 6/9 6/10 6/11 6/12 6/13 6/14 6/15 6/16 6/17 6/18 6/19 6/20 6/21 6/22 6/23 6/24 6/25 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 7/1 7/2 7/3 7/4 7/5 7/6 7/7 7/8 7/9 7/10 7/11 7/12 7/13 7/14 7/15 7/16 7/17 7/18 7/19 7/20 7/21 7/22 7/23 7/24 7/25 7/26 7/27 7/28 7/29 7/30 7/31 8/1 8/2 8/3 8/4 8/5 8/6 8/7 8/8 8/9 8/10 8/11 8/12 8/13 8/14 8/15 8/16 8/17 8/18 8/19 8/20 8/21 8/22 8/23 8/24 8/25 8/26 8/27 8/28 8/29 8/30 8/31 9/1 9/2 9/3 9/4 9/5 9/6 9/7 9/8 9/9 9/10 9/11 9/12 9/13 9/14 9/15 9/16 9/17 9/18 9/19 9/20 9/21 9/22 9/23 9/24 9/25 9/26 9/27 9/28 9/29 9/30 10/1 10/2 10/3 10/4 10/5 10/6 10/7 10/8 10/9 10/10 10/11 10/12 10/13 10/14 10/15 10/16 10/17 10/18 10/19 10/20 10/21 10/22 10/23 10/24 10/25 10/26 10/27 10/28 10/29 10/30 10/31 11/1 11/2 11/3 11/4 11/5 11/6 11/7 11/8 11/9 11/10 11/11 11/12 11/13 11/14 11/15 11/16 11/17 11/18 11/19 11/20 11/21 11/22 11/23 11/24 11/25 11/26 11/27 11/28 11/29 11/30 12/1 12/2 12/3 12/4 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12 12/13 12/14 12/15 12/16 12/17 12/18 12/19 12/20 12/21 12/22 12/23 12/24 12/25 12/26 12/27 12/28 12/29 12/30 12/31

検査数と陽性率（札幌市を除く地域）



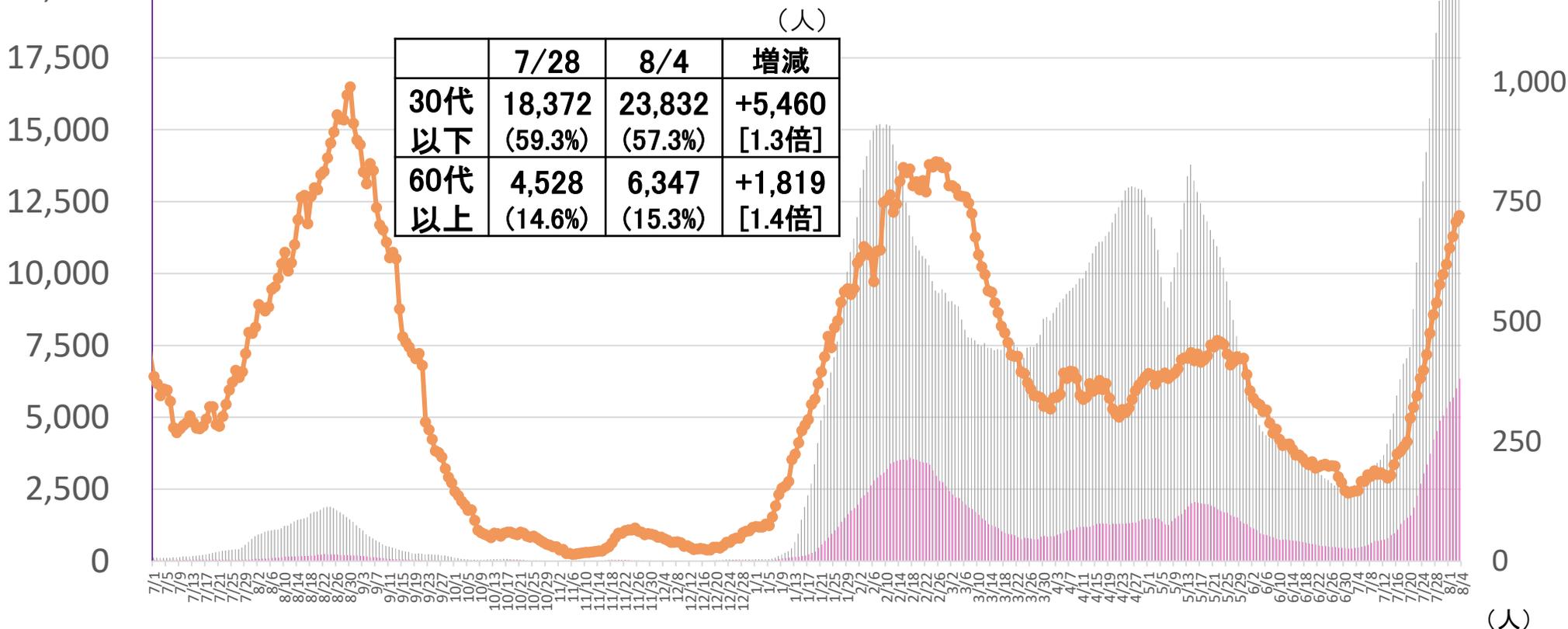
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)
(7日間合計)

入院患者数
(人)

■	30代以下の新規感染者数(全道)	8月4日	23,832人
■	60代以上の新規感染者数(全道)	8月4日	6,347人
—	入院患者数(全道)	8月4日	721人

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

(参考)

	7/28	8/4	増減
10代	4,180	4,923	+743 [1.2倍]

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

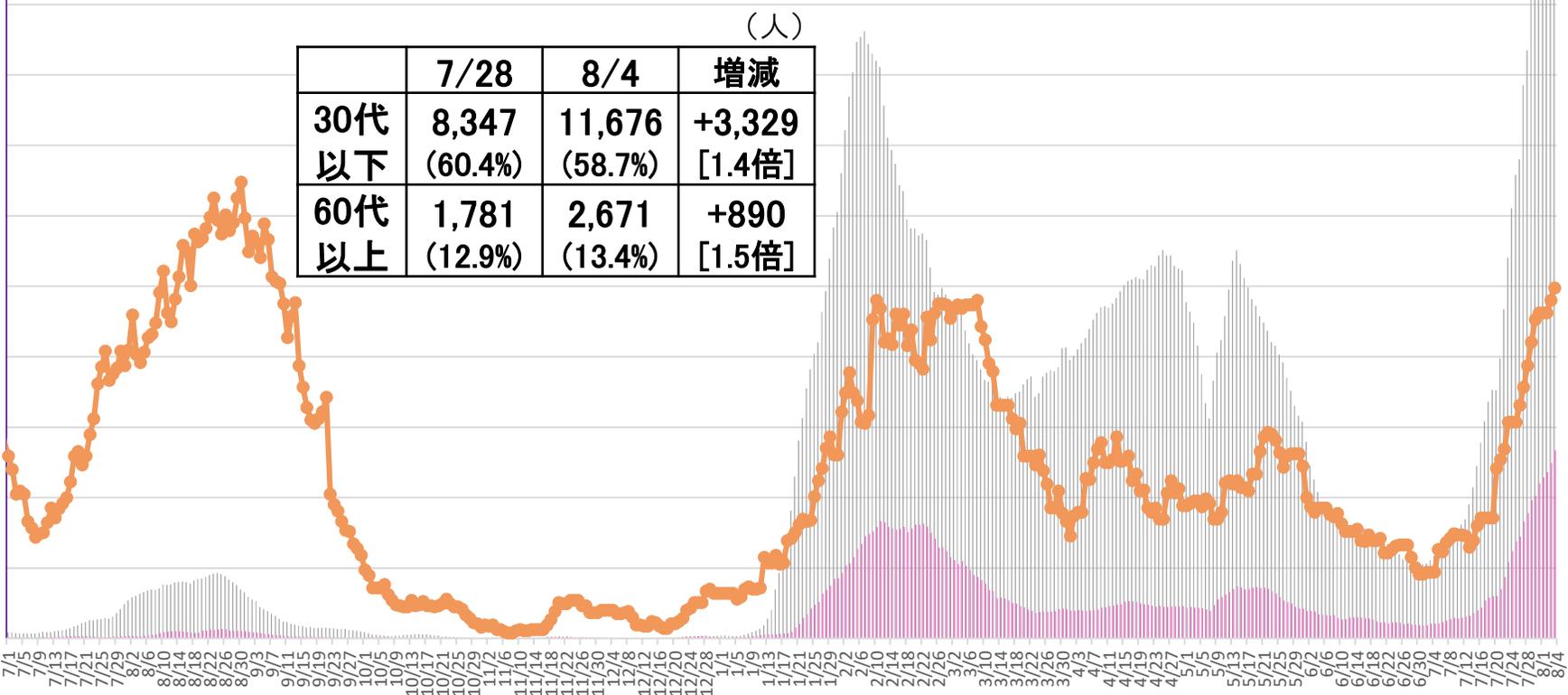
新規感染者数(人)
(7日間合計)

■ **30代以下の新規感染者数(札幌市)**
 ■ **60代以上の新規感染者数(札幌市)**
 — **入院患者数(札幌市)**

8月4日 11,676人
8月4日 2,671人
8月4日 311人

入院患者数
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている

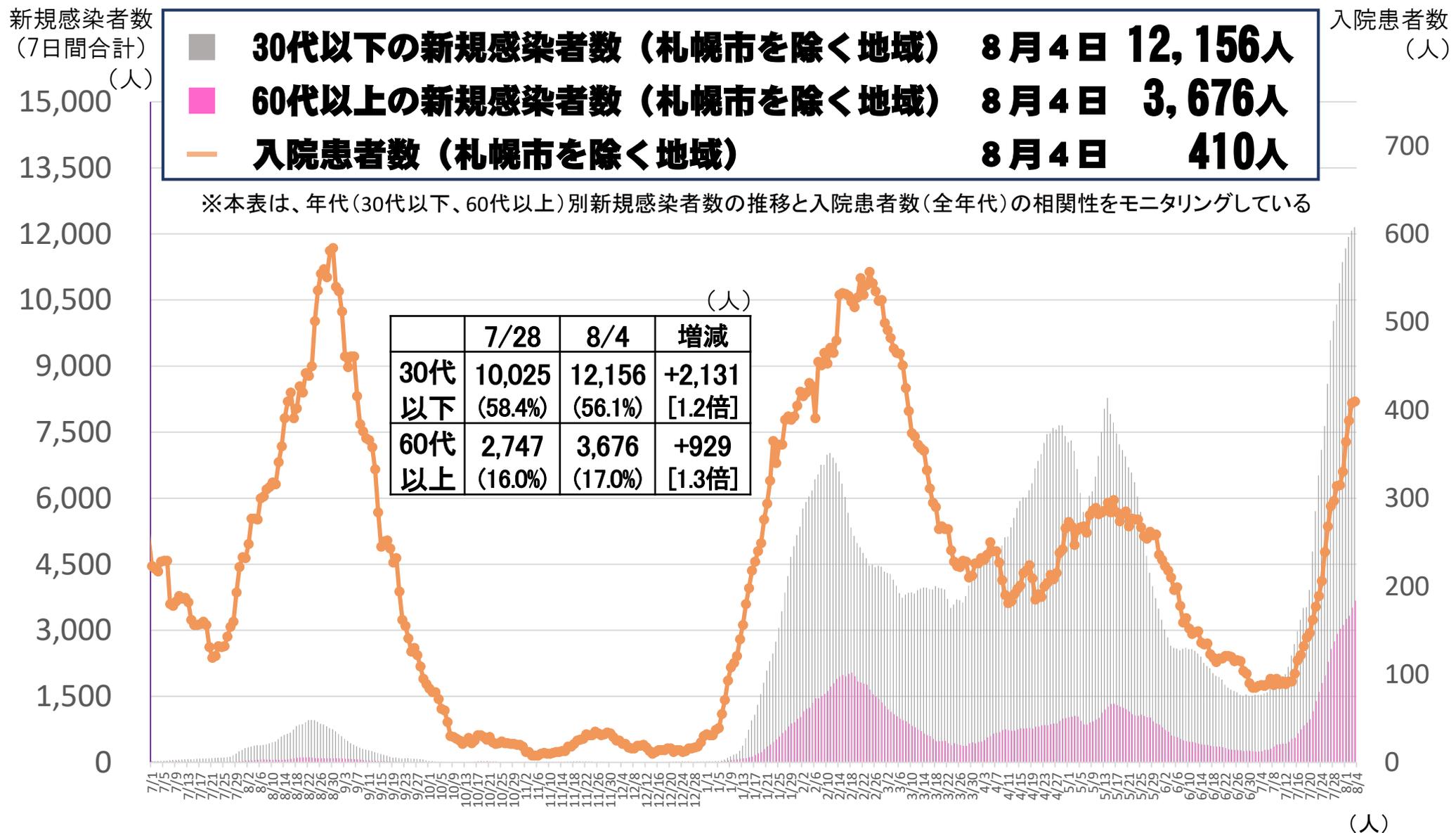


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

(参考)

	7/28	8/4	増減
10代	1,767	2,274	+507 [1.3倍]

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)



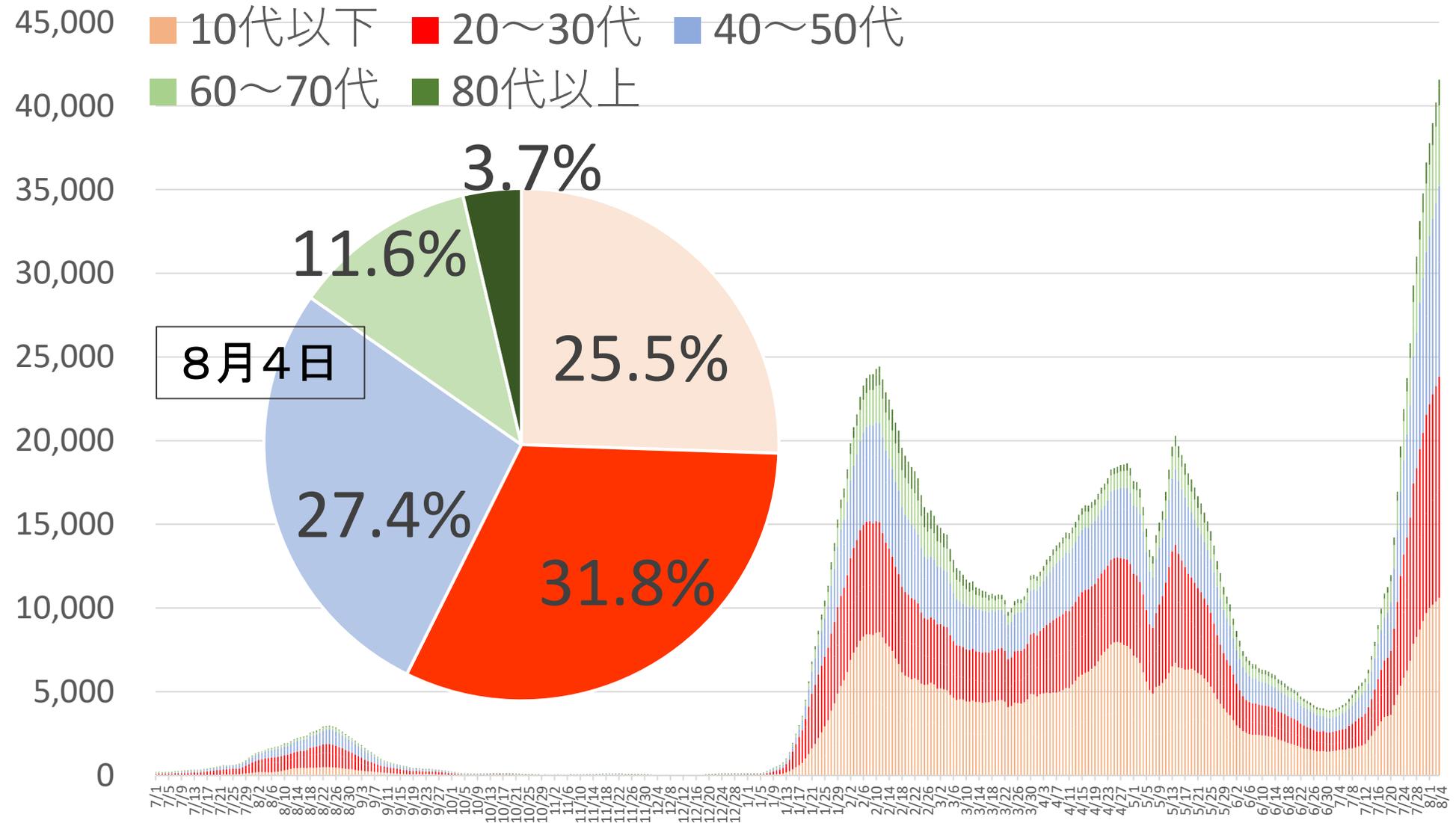
(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

(参考)

	7/28	8/4	増減
10代	2,413	2,649	+236 [1.1倍]

年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)
(7日間合計)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	7/15~21			7/22~28			7/29~8/4		
	合 計			合 計			合 計		
		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設
全 道	26件 (467人)	13件 (246人)	13件 (221人)	70件 (1114人)	22件 (517人)	48件 (597人)	86件 (957人)	27件 (342人)	59件 (615人)
札幌市	9件 (98人)	3件 (30人)	6件 (68人)	24件 (219人)	3件 (23人)	21件 (196人)	37件 (332人)	4件 (46人)	33件 (286人)
札幌市を 除く地域	17件 (369人)	10件 (216人)	7件 (153人)	46件 (895人)	19件 (494人)	27件 (401人)	49件 (625人)	23件 (296人)	26件 (329人)

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。8/3現在)

<3回目接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	3,421,258	65.4%
うち65歳以上	1,506,933	90.3%
(参考)全国	80,017,955	63.2%
うち65歳以上	32,326,009	90.4%

<4回目接種の状況>

区分	4回目	
	接種者数	接種率
北海道	560,646	—
うち60歳以上	540,292	26.9%
(参考)全国	13,681,610	—
うち60歳以上	13,202,382	30.6%

<1・2回目接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む)>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,326,790	82.8%	4,263,392	81.5%
うち小児	57,105	20.9%	52,521	19.2%
(参考)全国	103,927,095	82.1%	102,489,613	80.9%
うち小児	1,382,250	18.7%	1,254,266	16.9%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない)。

また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。8/3現在)

<3回目接種の状況>

区分	道内の接種 対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率	(参考) 全国の接種率 (7/31現在)
		3回目	3回目
12～19歳	344,145 (6.6%)	35.1%	34.3%
20～29歳	461,395 (8.8%)	50.0%	48.0%
30～39歳	545,877 (10.4%)	52.2%	51.7%
40～49歳	733,566 (14.0%)	60.8%	60.4%
50～59歳	697,270 (13.3%)	76.5%	77.7%
60～64歳	338,612 (6.5%)	83.1%	83.8%
65歳以上	1,668,858 (31.9%)	90.3%	90.3%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

3 ワクチンの種類と接種対象者

区分	ファイザー社製 (小児用)	ファイザー社製	モデルナ社製	武田社製 (ノババックス)	アストラゼネカ 社製
ワクチンの種類	m-RNA			組換えタンパク	ウイルスベクター
初回接種 (1、2回目)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28~84日間隔)
対象者	5歳以上 11歳以下	12歳以上	12歳以上	12歳以上	原則40歳以上
第一期追加接種 (3回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (6ヶ月間隔)	—
対象者	—	12歳以上	18歳以上	18歳以上	—
第二期追加接種 (4回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (5ヶ月間隔)	—	—
対象者	—	・60歳以上 ・基礎疾患等 ・医療従事者等	・60歳以上 ・基礎疾患等 ・医療従事者等	—	—
接種主体	市町村	市町村	北海道(追加接種のみ) 市町村	北海道 市町村	—

※ □は、令和4年7月22日付けでの改正箇所

※ 接種主体は現在実施中のみ掲載

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 3回目接種

- 3回目接種により感染予防や重症化予防の効果が回復するとされていることから、人の移動や世代間交流が活発となる時期となる夏休みやお盆シーズンに向けた接種率向上に取り組む。
- 特に、若年層の3回目接種を加速するため、若年世代をターゲットにした、ワクチン接種に関する広報を集中的に展開。知事のメッセージ動画を街頭大型ビジョンやSNSで配信するほか、既に開設した学生向けポータルサイトのリニューアルやSNSへのWEB広告を実施している。
- また、若年層に限らず、高齢者のほか、これまで、3回目接種を受けていない方への情報提供や接種希望者への対応などについて、市町村と連携し適切に取り組むとともに、北海道ワクチン接種センターも活用する。

区 分	内 容
接 種 の 目 的	新型コロナウイルス感染症に感染した場合の発症予防効果や入院予防効果を目的
接 種 対 象 者	2回目のワクチン接種を終了した12歳以上の方
接 種 の 時 期	令和4年9月30日(金)まで
使用するワクチン	・12～17歳の方はファイザー社ワクチンを使用 ・18歳以上の方はファイザーワクチン、モデルナワクチン、ノババックスワクチンを使用
接 種 間 隔	2回目接種からの間隔は、 ・ファイザーワクチン、モデルナワクチンは、5か月経過した後 ・ノババックスワクチンは、6か月経過した後

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

5 4回目接種

- 4回目接種については、各市町村において、5月25日以降、順次接種が開始されている。
また、7月22日から接種対象者が、医療従事者等及び高齢者施設等の従事者に拡大された。
- 必要なワクチンの配分調整や接種券発行手続等の情報提供などの、市町村支援に取り組んでいる。

区 分	内 容
接 種 の 目 的	新型コロナウイルス感染症に感染した場合の 重症化予防 を目的
接 種 対 象 者	3回目のワクチン接種をした18歳以上の方 〔なお、18歳以上60歳未満の方にあつては、 ・基礎疾患を有する方 ・その他重症化リスクが高いと医師が認める方 ・医療従事者等及び高齢者施設等の従事者〕
接 種 の 時 期	令和4年9月30日(金)まで
使用するワクチン	1回目～3回目接種に用いたワクチンの種類にかかわらず、m-RNAワクチンを使用 ※4回目接種の対象者全員が接種できる量の配分を予定
接 種 間 隔	3回目接種からの間隔は、5か月経過した後

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

6 北海道ワクチン接種センターの接種体制①

使用ワクチン	ノバックスワクチン			モデルナワクチン	
対応接種回数	1回目	2回目	3回目	3回目	4回目
接種対象者	道内の市町村が発行した1、2回目用の接種券をお持ちの12歳以上の方		道内の市町村が発行した3回目用の接種券をお持ちの18歳以上の方	道内の市町村が発行した3回目用の接種券をお持ちの18歳以上の方	道内の市町村が発行した4回目用の接種券をお持ちの18歳以上の方(※1)
実施期間	令和4年6月5日(日)から9月25日(日)までの毎週日曜日(17日間)			令和4年7月2日(土)～8月27日(土)までの毎週土曜日と祝日(10日間) ※8月6日(土)を除く	
接種体制	1日当たり、120名 (7月24日～8月28日の6日間は、240名に拡大)			1日当たり、360名	
	医療従事者:北海道医師会、札幌医科大学、北海道薬剤師会、北海道看護協会等				
予約受付	WEB:道のホームページからアクセス 電話:050-3851-0181(専用コールセンター)				

※1) 18歳以上60歳未満の方にあつては、基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方並びに医療従事者等及び高齢者施設等の従事者に限る。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

7 北海道ワクチン接種センターの接種体制②

<ノババックスワクチン>

○ 道直営の集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」で、6月5日から9月25日まで毎週日曜日に、ノババックスワクチンの接種を実施。8月21日分までの予約は、予約枠を満たしている状況。

8月28日(日)の接種分は、8月9日(火)から予約を受付。

○ なお、市町村でのノババックスワクチンの接種は、7市町(北見市、函館市、旭川市、苫小牧市、釧路市等)において接種が開始され、今後、4市(札幌市、恵庭市、帯広市等)で接種が開始される予定。

<モデルナワクチン>

○ 7月から8月にかけて道内の接種対象者がピークになると見込まれる中、4回目接種の促進に向け、7月2日から8月27日までの土曜・祝日に、4回目接種を実施。現在、**全日程**について、**空きがある状況であり、3回目接種を希望される方も予約可能。**

また、新たに対象となった、医療従事者等や高齢者施設等の従事者についても、接種券をお持ちの方は予約可能。